

2026年度 中小企業支援担当者等研修 専門研修

地域活性化のための地域分析の考え方・進め方

研修のねらい・内容

地方創生・地域経済活性化がこれまで以上に求められている中で、面的な診断手法を用いた分析・提言に代わるものとして、地域全体の構造や実情を正しく把握するためのプロセスとその実例を学びます。

また、地域の各種データ分析とその活用、マーケティング発想からの特徴づくり、地域資源の活用方法などを体系的に理解し、地域活性化のあり方を修得します。

研修の特長

- ✓ 地域活性化の実現に必要な企業経営の本質を体系的に学べる！
- ✓ 地域経済の構造や最新の政策動向について理解を深める！
- ✓ 演習を通じて各種データ分析とその活用方法を体得し実践的な力を身に付ける！

研修期間

2027年 1/5(火)～8(金)
(4日間・24時間)

対象者

中小企業・小規模事業者の支援に携わる

- ▶ 商工会・商工会議所等の支援機関の方
- ▶ 金融機関職員、中小企業診断士、その他専門家等で、認定経営革新等支援機関の方

中小企業診断士の方は、中小企業診断士更新の対象となります。(理論政策1ポイント)

定員 30名

受講料 23,000円(税込)
※受講料は変更になる場合があります。

会場・お問合せ先

中小企業大学校東京校
東京都東大和市桜が丘2-137-5

※研修についてのお問い合わせ
東京校支援研修課 TEL042-565-1270

月日	時間	科目	内容
	9:40	オリエンテーション	
1/5 (火)	10:00 ～ 17:00	地域産業活性化に必要な考え方	地域活性化に取り組む必要性と支援者(行政・支援機関等)の役割について理解する。 取組の本質 / 支援や連携の重要性 / 戦略構築プロセス / 取組事例の紹介 / 公的支援策の理解
1/6 (水)	9:40 ～ 16:40	地域活性化のための調査分析手法の進め方と戦略構築	地域活性化に向けた調査分析手法、戦略構築、実行プロセス等について学んだうえで、事例研究とグループワークを通じて、具体的な支援プロセスを修得する。
1/7 (木)	9:40 ～ 16:40		(商業編) 地域の特産品、郷土料理等を活かした地域活性化策の考え方や手法
1/8 (金)	9:40 ～ 16:40		(観光編) 地域資源などの特徴を活かして観光客を呼び込む地域活性化策の考え方や手法

※初日のみオリエンテーションを含む9:40～17:00となります。
※休憩時間(各日1時間)を含みます。また、カリキュラムは変更になる場合がございます。

講師紹介(敬称略)

アルパーコンサルティング株式会社 代表取締役
古川 忠彦(ふるかわ ただひこ)

中小企業基盤整備機構地域支援機関等サポート事業の中小企業アドバイザーとして、日頃から中小企業支援担当者等の支援スキル向上をサポートするほか、離島や中山間地を含む日本全国に出向き、地域活性化と中小企業・小規模事業者の「稼ぐ力」向上に現地現物で汗をかいている。また、中小企業・小規模事業者政策には検討段階から関わり、より良い政策づくりに貢献している。
中小企業会計学会理事。経営管理修士(MBA:明治大学)。

株式会社マインズコンサルティング 代表取締役
稲田 裕司(いなだ ゆうじ)

自動車メーカー出身。平成6年からコンサルタントとして活動。コンサルティング会社取締役を経て独立。経営戦略、マーケティング戦略、販路開拓、新事業構築等を専門領域とする。これまでに200社以上のハンズオン支援を手掛け、総支援実績は1,000社を超える。中小企業大学校の診断士養成課程講師等を20年以上にわたり担当、大手から中小企業まで幅広くコンサルティングを手掛ける。